

2020年11月9日

各位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 西尾啓治

2021年3月期 第2四半期 決算短信発表にあたり

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、感染拡大の防止と社会経済活動の両立に取り組む中で、一部に持ち直しの動きもみられております。

食品業界においては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、小売業では外出自粛に伴う巣ごもり消費を取り込むことで拡大した売上の伸びも緩やかとなり、また飲食業では、行政をはじめ様々な対策が講じられているものの回復には遠く、総じて持ち直しに向けた動きは鈍い状況にあります。

このような経営環境下、当社グループは新たに策定した「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取り組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大に伴うプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源やバリューチェーンの活用拡大によるグループ総合力の強化等に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の従業員への感染防止に取り組み、お客様へ安全で安心して頂ける商品の安定供給に努めました。その他、学校給食の休止や外食需要の減退に伴い牛乳などの需要が大幅に減少する中で、生乳廃棄の回避に向け需給調整機能を果たすべく生乳処理に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は3,140億円（前年同期比0.8%増）、営業利益は110億円（前年同期比4.2%増）、経常利益は119億円（前年同期比2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億円（前年同期比6.6%減）となりました。

当社グループは今年度より、「グループ長期ビジョン 2026」の第2ステージ「グループ中期経営計画 2022」をスタートしております。下期においても、「グループ収益基盤の確立」と「生産体制進化の本格始動」を進め、2021年3月期の経営目標達成を目指してまいります。

併せて、SDGsを含めCSR重要課題として掲げた社会課題の解決に取り組むことにより、「グループ長期ビジョン 2026」に掲げた「ミルク未来創造企業」の実現を目指してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上